

保育園について

長野県長野工業高等学校
物質化学科
小林唯 小山唯愛



～テーマ設定の理由～

- どうして保育園に子供を預けたくても預けられない人がいるのか？
- なぜ待機児童が出てしまうのか？



③現状

待機児童数

(保育所待機児童数及び保育所等利用率の推移)



厚生労働省が2019年9月6日、4月1日での保育所等の定員や待機児童の状況

- ・ 保育士資格を持つ人の約 5 割は保育園に就職しない

- ・ 保育士として働いている人たちの半数が、平均勤続年数5年未満と、早期離職の傾向。

- ・ 保育事故が多いことからわかるように、ちょっとした油断やミスが、命に関わるリスクが潜んでいるため、非常にメンタル面での負担が大きくそれに耐えられない人が出てくる



結果、保育士資格を持つ人の半数が保育園への就職を希望していないため、保育士の数が減り、保育園の数が減る→待機児童数が増えている現状

④問題

- 1、保育士の人材不足
→責任の重さ、事故への不安、保護者との関係が難しい
- 2、待機児童問題
- 3、責任の重い労働に対して低い平均賃金
- 4、休憩時間が確保出来ない

⑤ 今後の課題

- 保育士の人材を増やす
- 保育士の給料を上げる
- 保育士にしっかり休暇を与える

在宅勤務の検討

- 自宅で子供と一緒に過ごしながら仕事をできることで子供の預け先がないために仕事を退職しなければならないという状況がなくなる

SDGs実現に向けて 10代からの提言

子どもを保育園に預けて働けるように
どこの地域も待機児童をなくしてくだ
さい。

保育士の働く環境を整えてください。

考察

保育士の資格を取得しても保育士ならない人が多く、ストレスなどでやめてしまう人もいることが分かった

保育園の問題に対して目を向けていない人が多い 男女ともに目を向けて考えていくことが大切だと思う

感想

保育士の大切さと、大変さが分かった
親の気配りも大切と感じた